

須川崇志 contrabass

定村史朗 violin

高橋佑成 piano

2016 11月05日(土)

開場 19:30
開演 20:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 2800 円 + 2drinks order

CAFE BEULMANS

お問い合わせ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



photo by Eiji Kikuchi



高橋佑成

5歳からエレクトーンを始め、13歳の頃からジャズに興味を持つ。独学でビル・エバンスのコピーなどを始め、間もなく、中学生対象の世田谷ドリームジャズバンドに加入、日野皓正氏を始め、多くのミュージシャンにアドバイスを受ける。石井彰にジャズピアノを師事。現在は、中山拓海Quartet、たくみの悪巧み、世田谷トリオ、類家心平とのデュオを中心に活動。多くのミュージシャンから期待を寄せられる、若き才能である。

須川崇志

1982年2月生、群馬県伊勢崎市出身。11歳の頃にチェロを弾き始め、18歳でジャズベースを独学で始める。2001年に日本大学文理学部を中退、その後奨学金を得てアメリカへ渡り、パークリー音楽大学にてJohn Lockwood氏にベースを師事する。2006年に同大学を卒業。同年夏、自己のトリオを結成、日本国内14カ所をツアーする。2007年に活動拠点をニューヨークに移す。同年7月、Jake Hertzog(g)のカルテットでスイスのモントルージャズフェスティバルに出演。2008年9月に日本へ帰国し、現在は東京在住。辛島文雄トリオを経て、2010年3月から日野皓正カルテットのメンバーとなり、アルバムレコーディングに参加。2011年には八木美知依ダブルトリオ(MYDT)でドイツのメルスフェスティバル、日野皓正AFT ERSHOCKバンドで東京ジャズに出演。他の共演者に、Peter Brotzmann, 峰厚介, 本田珠也, 太田恵資, Mike Nock, Todd Nicholson, 伊藤君子, 山中千尋, Gene Jackson等。

定村史朗

1963年東京生まれ。高校在学中より、ジャズ、ロックを通じてバイオリンによる即興を模索し始める。1984年に渡米、ボストンのパークリー音楽大学でジャズバイオリンを学び数々の賞を受賞後、87年ニューヨークへ移る。88年~90年 エディ・パルミエリ・バンドヘレギュラー参加、アルバム「SUENO」がグラミー賞にノミネートされる。2005年、即興を主体とした自己のバンド「UPLINKERS」で初リーダー作「METAMORPHOSIS」を発表、ゲストにエディ・パルミエリ、ロンカーター等を迎えジャズ、ファンク、ラテン、現代音楽などを融合した話題作と各メディアで絶賛される。2012年春、28年間のアメリカ生活にピリオドを打ち完全帰国。現在は日本を拠点に、ジャズバイオリンの第一人者としてジャンルを超えた独自の音楽活動を始めている。

<http://restart-ny.com/uplinkers/>